



# 歴史年表

# 日本と栃木市の出来事

年号	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町 戦国	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和		
日本の出来事	今の日本列島の形ができる(一万六〇〇〇年ほど前) ○狩りや漁をして暮らす	米づくりが日本各地で行われるようになる 小さくなくが各地にできる	古墳が各地につくられる 大和朝廷(大和政権)が日本を統一しはじめる	藤原京がつけられる(六九四) 大化の改新が始まる(六四五) 聖徳太子が政治をとる(五九三)	平城京に都を遷す(七一〇)	○武士が力をもちはじめ 平安京に都を遷す(七九四)	鎌倉幕府がたおれる(一一三三) 源頼朝が幕府を始める(一一八五)	○一〇〇年ほど国が乱れる 応仁の乱がおこる(一四六七~一四七七) 足利尊氏が征夷大將軍となる(一三三八)	豊臣秀吉が全国を統一する(一五九〇) 織田信長が室町幕府をたおす(一五七三)	徳川家康が江戸幕府を開く(一六〇三)	江戸幕府がたおれ、武士の世の中が終わる(一八六七) ペリーが浦賀に来る(一八五三) ○百姓の一揆や打ちこわしが多くなる ○町人の力が強くなり、町人文化が育つ 日光東照宮が創建される(一六一七) 徳川家康が73歳で亡くなる(一六一六) 徳川家康が江戸幕府を開く(一六〇三)	日露戦争がおこる(一九〇四) 日清戦争がおこる(一八九四) 大日本帝国憲法が公布される(一八八九) 伊藤博文が最初の内閣総理大臣になる(一八八五) 栃木県が設置される(一八七三) 藩を廃止して県を置く(一八七二) 首都が東京に移される(一八六九) 明治維新	関東大震災がおこる(一九二三) 第一次世界大戦に参戦する(一九一四)	日中戦争がおこる(一九三七) ○世の中が不景気になり、失業者が増える	○公害が社会問題となる オリンピック東京大会が開かれる(一九六四) 東海道新幹線が開通する(一九六四) ○経済がめざましく発展する 日本国憲法が公布される(一九四六) ポツダム宣言を受け入れる(敗戦)(一九四五) 広島・長崎に原爆が落とされる(一九四五) 太平洋戦争がおこる(一九四一) 日中戦争がおこる(一九三七)	東日本大震災がおこる(二〇一一) ○不景気が深刻になる 阪神・淡路大震災がおこる(一九九五)	「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開かれる(二〇二一) 新型コロナウイルス感染症が流行する(二〇二〇)
	栃木市の出来事	動物を狩ったり植物をとったりした集団定住生活が始まる 篠山貝塚・藤岡神社遺跡 67ページ	弥生時代に特徴あるお墓がつくられる 弥八田遺跡・大塚古墳群内遺跡 89ページ	地域の有力者の墓(古墳)がつくられる 吾妻古墳・山王寺大柁塚古墳・下野七廻り鏡塚古墳 89ページ	「窠業」と「製鉄業」が発達する 「下野国府」が今の栃木市に置かれる 1011ページ	武士が力を付け始め、下野国府が衰える 1213ページ	皆川広照が皆川城に拠点を置く 西方城がつくられる	沼尻の合戦(一五八四) 皆川広照が皆川城に拠点を置く 西方城がつくられる	皆川広照が栃木城をつくる(一五九〇以前) 1415ページ	天狗党の乱(一八六四) 「舟運」と「日光例幣使道」で商人の町として発展 1415ページ	両毛鉄道(現・JR両毛線)が開通(二八八八) 県庁が宇都宮に移る(一八八四)、足尾銅山鉱毒事件 栃木県誕生。栃木町に県庁が置かれる(一八七三) 1617ページ	近代化するまち 1617ページ 栃木町が栃木市(旧栃木市)になる(一九三七) 東武鉄道日光線・宇都宮線が開通(一九二九・一九三二)	東北縦貫自動車道栃木インターチェンジの使用が始まる(一九七二) 下駄製造とぶどう生産で戦後の復興をとげる 1819ページ	岩舟町と合併し新しい栃木市になる(二〇二四) 渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録される(二〇二二) 嘉右衛門町が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される(二〇二二) 西方町と合併(二〇一一) 栃木市・大平町・藤岡町・都賀町の1市3町が合併(二〇一〇)			

